2018年10月7日 （日） 日本転倒予防学会　第5回学術集会（予定）

2018/8/7作成

	アクトシティ浜松 中ホール	コングレスセンター							
		41　会議室	31会議室	43+44会議室	21＋22＋23 会議室				52+53+54 会議室
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場				第6会場
	口演	口演	口演	企業展示・書籍展示・ドリンクコーナー	ポスター				一般口演
8:20	**受付開始** 8:55 開会式　挨拶　大会長 浜松市長　鈴木　康友								
8:50									
9:00	9:00～9:30(30分) **大会長講演** 転倒予防ケア学の課題と構築～認知症高齢者の転倒予防のハーモニーを基盤として～ 座長：菅栄一			9:00～15:00 **企業展示・書籍展示** **ドリンクコーナー**（会場の真ん中に机・椅子など置き、ミーティングできるよう設置）					
10:00	9:40～11:10(90分) **【パネルディスカッション-1 】** 市民とともに広げる転倒予防：地域包括ケアシステムとソーシャルキャピタル 座長：北湯口 純、岡田 真平 キーノート：健康格差社会と転倒予防：近藤克則（千葉大） ・東御市（岡田先生と市民代表） ・雲南市（北湯口先生と市民代表）・ 浜松市（福園氏と市民代表）	9:40～11:10(90分) **【パネルディスカッション-2】**最新転倒・転落アセスメント・ツールの展開 座長：征矢野あや子、上内哲男 演者：横田慎一郎 黒川美知代 杉山智子	9:40～11:10（90分） **【ワークショップ 1】** 「転倒予防指導士の活動状況と報告」 座長：奥泉宏康ワークショップファシリテーターリーダー：阿部邦彦（同朋大学）、アンケート結果報告：鈴木美佳（静岡市立清水病院）、ファシリテーター：転倒予防指導士		9:40～11:17 **ポスター**（7分）				9:40～11:20 **一般口演**（9分）
					9:40～10:22 ポスター1： 病院内における転倒・事故の実際 （7分×6題） 座長：天野力郎	9:40～10:29 ポスター5： 病院内における転倒予防 （7分×7題） 座長：内田泰彦	9:40～10:22 ポスター9： 施設・地域社会における転倒 （7分×6題） 座長：森田光生	9:40～10:29 ポスター13： 転倒予防チーム （7分×7題） 座長：田中英一	9:40～10:25 一般口演1： 動作解析・開発 （9分×5題） 座長：大高洋平
11:00					10:32～11:14 ポスター2： スタッフの意識 （7分×6題）	10:32～11:14 ポスター6： 器具 （7分×6題）	10:32～11:14 ポスター10： 施設・地域社会における転倒予防 （7分×6題）	10:32～11:14 ポスター14： 動作解析・力学 （7分×6題）	10:30～11:15 一般口演2： 指定演題：認知症高齢者の転倒予防 （9分×5題）
	11:20～11:50(30分) **【特別講演】** ソプラノ歌手　中丸三千繪氏 座長：石川正恒			11:20～12:20 **転倒予防指導士コーナー** （ワークショップの結果の展示、および転倒予防指導士各地の活動を展示）					
12:00	11:55～12:20(25分) **総会**								
		12:30～13:30(60分) **【ランチョンセミナー1】** サルコペニア・フレイルとビタミンD 共催：中外製薬・ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 座長：萩野浩 演者：小川純人	12:30～13:30(60分) **【ランチョンセミナー2】** 共催：エーザイ 薬剤の使用と転倒 座長：武藤芳照 演者：加藤豊範（小林記念病院薬剤部）、佐藤晶子（聖隷三方原病院）						
13:00									
	13:45～14:45(60分) **【スポンサードセミナー1】** AIによる転倒予防（仮） 共催：FRONTEOヘルスケア エーザイ 座長：山本創太 演者：中尾正寿（NTT東日本関東病院）、ｴﾝｼﾞﾆｱ（FRONTEOﾍﾙｽｹｱ）	13:45～14:45(60分) **【ワークショップ2】** 転倒予防の新たな視点：身体拘束ゼロへの挑戦 座長：鮫島　直之 演者：小藤幹恵（金沢大学附属病院）	13:45～14:45(60分) **【スポンサードセミナー2】** 脊椎疾患から見た転倒とその予防 十全記念病院（浜松医科大学長寿運動器疾患教育研究講座） 座長：黒柳律雄 演者：戸川大輔 （浜松医科大学）		13:45～14:41 **ポスター**（7分）				13:45～14:48 **一般口演**
14:00					13:45～14:13 ポスター3： 急性期病棟 （7分×4題）	13:45～14:13 ポスター7： 回復期病棟 （7分×4題）	13:45～14:13 ポスター11： 体操・運動 （7分×4題）	13:45～14:13 ポスター15： 疾患と転倒 （7分×4題）	13:45～14:30 一般口演3： 転倒予防のための基礎データ・リスク評価(9分×5題)
					14:20～14:41 ポスター4： 再骨折予防手帳 （7分×3題）	14:20～14:34 ポスター8： 退院に向けた取り組み （7分×2題）	14:20～14:41 ポスター12： フットケア （7分×3題）	14:20～14:48 ポスター16： 転倒予防のための基礎データ・リスク評価 （7分×4題）	14:35～14:53 一般口演4： 認知機能と転倒 （9分×2題）
15:00	15:00～16:30(90分) **【シンポジウム1】**多職種連携のハーモニーによる転倒予防 座長：原田敦、山田実 演者： ・大腿骨近位部骨折地域連携パスを用いた転倒予防：山崎薫：医師（磐田市立総合病院）、 ・感染徴候と転倒リスクを踏まえたアプローチ：村上あおい 感染管理認定看護師（京都市立病院） ・高齢施設における転倒予防：下山久之（社会福祉）（同朋大学） ・病院内多職種連携の課題：垣越咲穂：薬剤師（東名古屋病院）	15:00～16:30(90分) **【シンポジウム2】** 医療と工学の連携による転倒予防 座長：立川厚太郎　橋口知 演者： ・高齢者の歩行解析と不整地での歩行を支援するロボット杖の開発：伊藤友孝 （静岡大学工学部） ・転倒予防のためのベッドの開発：初雁卓郎（ﾊﾟﾗﾏｳﾝﾄﾍﾞｯﾄﾞ） ・ロボットを用いた転倒予防研究の成果：近藤和泉（長寿医療）	15:00～16:30（90分） **【ワークショップ 3】** 転倒予防のより良い介入研究のために 座長：上岡洋晴・金森雅夫 演者：上岡洋晴：転倒予防の研究に必要な介入研究の研究方法論、 金森雅夫：転倒予防の介入研究に必要な統計学、 島田裕之：転倒予防介入研究の実際						
16:00									
	閉会挨拶								